

## 野生イノシシ捕獲根絶に向けた状況について

### 1 渥美半島における野生イノシシの生息頭数等について

#### (1) 生息頭数（推定値）の推移

2020年度から、生息状況調査にRESTモデル<sup>\*</sup>を取り入れ、これにより得られた平均生息密度を用いて、田原市及び豊橋南部（以下「渥美半島」という。）の生息頭数の推定を実施している。渥美半島における2021年度の生息頭数の推定値は2020年度の同時期と比べ増加している（図1）。

※RESTモデル…撮影データに基づき、生息密度を推定する手法

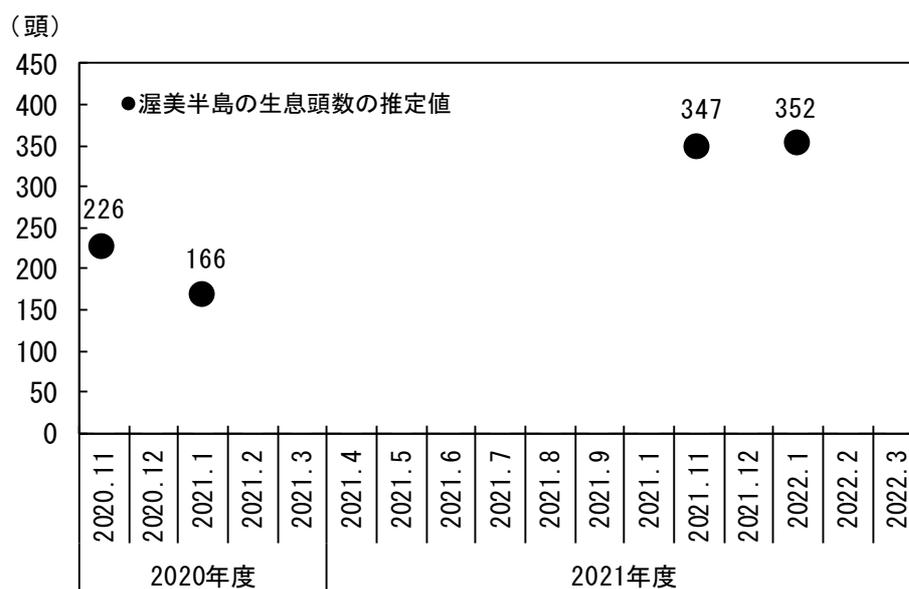


図1 渥美半島における野生イノシシの生息頭数（推定値）の推移

#### (2) 渥美半島における野生イノシシの捕獲根絶に必要な捕獲頭数の試算

生息状況調査や捕獲頭数の結果から、2022年度末までに渥美半島における野生イノシシを捕獲根絶するために必要な捕獲頭数を試算したところ、594頭となった。

### 2 田原市及び豊橋市における野生イノシシの捕獲頭数について

#### (1) 年度別の捕獲頭数等の推移

田原市及び豊橋市における野生イノシシの捕獲頭数について、捕獲取組の強化を始めた2019年度をピークに年々減少しており、2021年度は235頭であった（図2）。

イノシシの生息密度との指向性が高いと言われているくくりわなのCPUE（捕獲効率）については、2020年度から2021年度にかけて、指定管理鳥獣捕獲等事業（以下「指定管理」という。）は減少したのに対し、有害鳥獣捕獲（以下「有害捕獲」という。）では増加傾向<sup>\*</sup>を示した（図3）。

※図3の有害捕獲のCPUEは、わなの稼働日数を365日と仮定して算出しているため、過小評価している可能性がある。

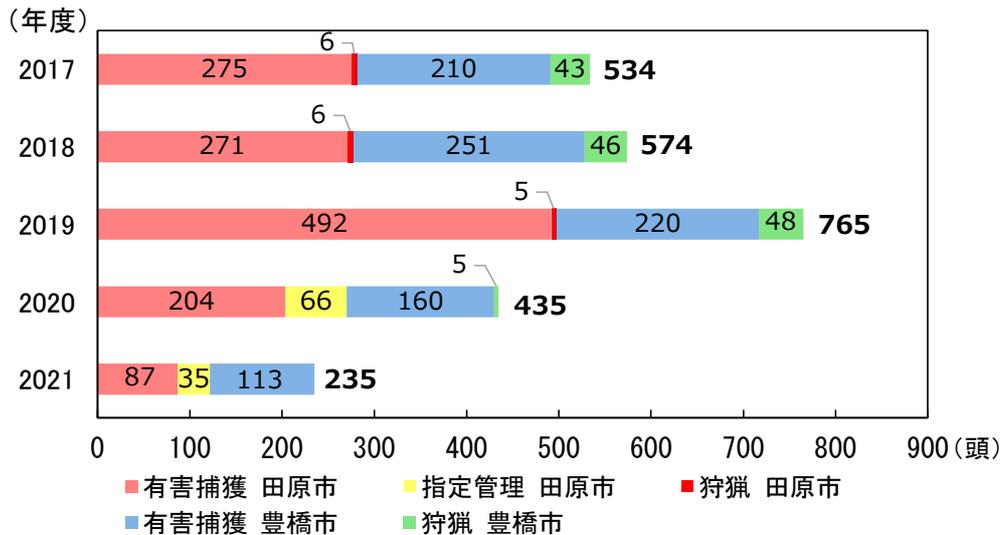


図2 田原市及び豊橋市における野生イノシシの年度別捕獲頭数の推移  
(2021年度の狩猟実績は未集計)

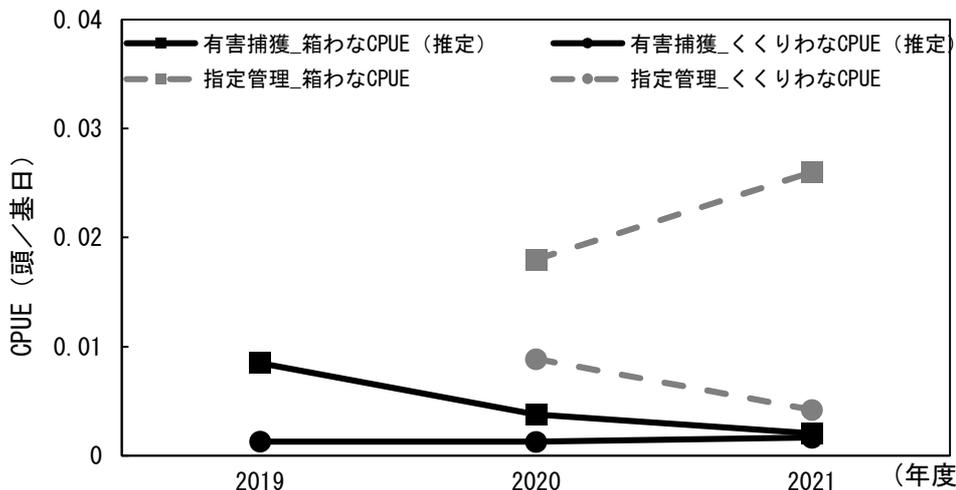


図3 田原市及び豊橋市における野生イノシシの年度別CPUE(捕獲効率)の推移

## (2) 月別の捕獲頭数の推移(資料1-1)

2022年度(5月末時点)の野生イノシシの有害捕獲による捕獲頭数(速報値)は、田原市は2頭、豊橋市は11頭で、同時期と比べ、豊橋市は直近3年と同程度であるのに対し、田原市については、2016年度以降最も少なかった2021年と比べても、約8割減少している。

## (3) 捕獲イノシシの年齢査定の結果(資料1-2)

2021年度に捕獲された野生イノシシの歯列による年齢査定の結果、成獣の割合は田原市で約42.6%、豊橋市で約47.4%といずれも2020年度と比べ高くなっており、成獣の捕獲の割合が上昇している。

### 3 愛知県内における野生イノシシの豚熱の感染状況について

野生イノシシにおける豚熱陽性の個体が、2021年10月に県内では約1年ぶりに豊田市で確認されて以降、県内で野生イノシシ陽性個体が計10件確認されている。

表1 2021年10月以降の野生イノシシの豚熱陽性事例一覧

	発見／捕獲年月日	発見／捕獲市町村名
1	2021年 10月 14日	豊田市
2	” 11月 1日	”
3	” 12月 10日	”
4	” 12月 14日	”
5	2022年 1月 4日	”
6	” 1月 17日	”
7	” 2月 2日	”
8	” 4月 28日	岡崎市
9	” 5月 20日	豊田市
10	” 6月 7日	”